大学生の日常的な冗談を規定する個人特性の検討

○門脇彩乃¹・末武康弘²(ルーテル学院大学大学院総合人間学研究科¹・法政大学現代福祉学部²)

キーワード：冗談，信頼感，共感性

The effect of personality on daily joking among college students

Ayano KADOWAKI¹ and Yasuhiro SUETAKE²(Graduate School of Integrated Human Studies, Japan Lutheran College¹ Faculty of Social Policy and Administration, Hosei University²)

Key Words: joking, reliability, empathy

目 的

我々は、日常の対人関係の中でしばしばユーモアを用いる。対人関係におけるユーモアの表出には、相手の心理的状態や相手との関係性を察知するような個人特性が関連すると考えられるが、これまであまり研究されていない。そこで、ユーモアと類似する概念である冗談 (joke) を取り上げ、「ある個人が、他者におかしさを感じさせることを意図して表出する行為 (葉山ら, 2008)」を「冗談行動」と定義した上で、信頼感と共感性が冗談行動に与える影響を検討した。

方 法

首都圏の学生 194 名に質問紙を配布し、内 172 名 (男性 67 名, 女性 105 名, 平均年齢 20.1 歳) を分析対象として調査を行った。使用した質問紙は、1. 冗談行動尺度 (葉山ら, 2008), 26 項目, 2. 信頼感尺度 (姜ら, 2014) 28 項目, 3. 多次元共感性尺度 (鈴木ら, 2008) 24 項目で構成された。

結 果

因子分析の結果 記述統計量により、2 の 10 項目と 3 の 1 項目に天井効果が、1 の 2 項目に床効果がみられたため、該当項目を除外して因子分析 (主因子法, promax 回転) を行った。その結果、1. 自らをモチーフとした冗談である「自己卑下の冗談」、会話を弾ませたり相手との関係性を深めたりするような「日常的な冗談」、相手への親しみを込めた「からかい」、自分を過度に褒めるような「自己称賛的冗談」の 4 因子、2. 自己の短所や意志へのありのままの信頼である「自己信頼」、他者との相対的を通した自己への信頼である「相対的自己信頼」、自己のことを肯定的に認めてくれる他者への信頼である「他者信頼」の 3 因子、3. 積極的に他者の立場に立とうとする「視点取得」、他者からの影響の受けやすさを示す「被影響性」、他者よりも自分にフォーカスした感情反応である「自己指向的反応」の 3 因子が抽出された。

性差の検討 性差の検討のために、対応のない t 検定を行った結果、自己卑下の冗談得点は女性が男性よりも高く、からかい得点は男性が女性よりも高く、他者信頼得点、被影響性得点は女性が男性よりも高かった (すべて $p < .05$)。

相関関係の検討 冗談行動と信頼感と共感性の相関を男女別に検討した結果を Table2 に示す。

重回帰分析の結果 信頼感と共感性の下位尺度得点を独立変数、冗談行動の下位尺度得点を従属変数とし、男女別に重回帰分析 (強制投入法) を行った結果を Table2 に示す。

考 察

第一に、自己受容度と愛他性が自虐的ユーモアや遊戯ユーモアの表出に影響を与える (塚脇ら, 2008) ため、自己信頼、

視点取得および自己指向的反応は自己卑下の冗談に対して正の影響を及ぼすこと、ユーモアのストレスコーピング機能の側面から、視点取得と自己指向的反応は日常的な冗談に対して正の影響を及ぼすことの 2 点が予想されていた。重回帰分析の結果は男女で異なり、男性においてのみ視点取得が日常的な冗談を規定することが示唆された。女性の視点取得傾向は、励ましや相手の言いづらいことばの言語化など、冗談以外の表現手段に結びついている可能性が示唆される。

第二に、女性のみ、相対的自己信頼は称賛的冗談を、自己指向的反応はからかいを規定し、視点取得はからかいを抑制することが示唆された。この点について男性の場合と有意差がみられたわけではないが、男性にはみられなかった特徴であり、女性の友人関係の独自性を示唆した姜ら (2014) の考察を一部支持する形の結果である。つまり、女性では冗談の意味を込めたからかいや自画自賛の背景には他者と比較した上での自己信頼が存在し、相手との満足できる関係の維持に機能していると考えられる。

Table1 冗談行動下位尺度得点と信頼感尺度および多次元共感性尺度得点との相関

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 自己卑下	—	.54**	.34**	.24*	.02	-.14	.00	.37**	.17	-.08
2 日常	.58**	—	.64**	.44**	.29*	-.04	.15	.43**	.35**	-.06
3 からかい	.38**	.45**	—	.50**	.30*	.13	.16	.05	.19	-.16
4 自己称賛	.34**	.45**	.44**	—	.30*	.12	.18	.00	.18	-.06
5 自己信頼	.07	.20*	-.05	.10	—	.17	.62**	.31*	.02	-.28*
6 相対的自己信頼	-.05	.15	.04	.30**	.43**	—	.10	-.10	.28*	-.07
7 他者信頼	.05	.04	-.10	.11	.51**	.20*	—	.29*	.11	-.02
8 視点取得	.09	.07	-.27**	.04	.43**	.13	.58**	—	-.02	-.18
9 自己指向的反応	.27**	.27**	.31**	.12	.02	.01	.05	-.09	—	.12
10 被影響性	.23*	.15	-.04	.04	-.09	.00	.09	.17	.29**	—

注) 冗談行動下位尺度において「的冗談」という箇所を省略して記載している。

* $p < .05$ ** $p < .01$ 右上: 男性 左下: 女性

Table2 冗談行動下位尺度得点を目的変数とする重回帰分析

	男性				女性			
	自己卑下	日常	からかい	自己称賛	自己卑下	日常	からかい	自己称賛
自己信頼	-.06	.31*	.31	.32	.13	.23	.00	-.08
相対的自己信頼	-.17	-.14	.01	.00	-.11	.07	.07	.32**
他者信頼	-.06	-.18	-.05	.00	-.07	-.14	.02	.09
視点取得	.40**	.39**	-.05	-.09	.08	.04	-.24*	-.01
被影響性	.26*	.39**	.19	.18	.23*	.25*	.41**	.11
自己指向的反応	-.07	.36	-.10	.00	.17	.10	-.09	.00
決定係数 (R^2)	.22*	.36***	.14	.13	.12	.14*	.17**	.11

注) 冗談行動下位尺度において「的冗談」という箇所を省略して記載している。

注2) 数値は標準偏回帰係数 (β) を表す。* $p < .05$ ** $p < .01$ *** $p < .001$

引用文献

葉山大地・櫻井茂男 (2008). 友人に対する冗談関係の認知が冗談行動へ及ぼす影響 心理学研究 79 (1) 18-26
姜信善・南朱里 (2014). 信頼感が友人関係満足に及ぼす影響についての検討 富山大学人間発達科学部紀要 9

(1) 1-15

鈴木有美・木野和代 (2008). 多次元共感性尺度 (MES) の作成: 自己指向・他者指向の弁別に焦点を当てて 教育心理学研究 56 487-497